

授業科目名	観光企画論			科目コード	G2403L04
英文名	Tourism Product Planning				
科目区分	観光専攻科目 - 観光事業・マネジメント				
職名	准教授	担当教員名	大谷 友男		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	1限目		
開講時期	3年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	本講義では、前期開講の「観光経営論」やその他の観光専攻科目で学んだ知識をもとに、観光商品の造成を検討します。前半では、商品造成にあたっての基本的な考え方となるマーケティングについて解説し、中盤では商品企画を行う地域のフィールドワークを実施し、その成果をもとに後半ではグループワークを通じて具体的な観光商品の造成・企画書の作成を行い、観光企画を「知っている」だけでなく「できる」ようになるよう講義を進めていきます。				
キーワード	観光商品	マーケティング	企画力	グループワーク	フィールドワーク
到達目標	観光商品を企画するための基本的な考え方であるマーケティングの考え方とプロセスを理解できる。（40％）				
	事前学習とフィールドワークを通じ、地域の特徴や課題などを発見する力を養います。（20％）				
	さまざまなアイデアを形にしていくことのプロセスを体験することで、卒業後に社会で活躍する際に、スムーズな商品企画ができるようになる。（40％）				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○		○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○		○	○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【ガイダンス】 講義のねらい、年間計画、進め方のほか、評価方法について説明します。中盤に実施するフィールドワークの日程や対象地域についてもガイダンスで説明します。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	【企画書って何だ？】 本講義のゴールである「企画書」の作成ですが、そもそも企画書と何か、企画書には何が求められるのかといったことについて解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第3回	【マーケティングとは何か】 観光商品の造成を考える上で、基本的な考え方となる「マーケティング」について、その考え方や商品造成に至るまでのプロセスについて解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第4回	【マーケティングの実践 環境分析】 マーケティングを実践するにあたり、まずは自らの立ち位置を明確にするための「環境分析」が重要になります。その際の基本的な考え方であるSWOT分析について解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第5回	【マーケティングの実践 戦略の構築】 環境分析をもとに、どのような方向性で商品を考えていくのか、商品づくりの戦略を構築するための考え方について解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第6回	【マーケティングの実践 戦術の検討】 構築された戦略の下で、具体的にどのような手を打っていくかといった「戦術」の考え方について解説します。あわせて「戦略」と「戦術」の違いについても理解を深めます。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第7回	【マーケティングの実践 管理と改善】 実際に構築された戦略とそれに基づいた戦術を展開したあとは、その取り組みが有効だったか、不足する点は何か...など作られたプランを評価・管理し、それを次の事業の改善へとつなぐことが必要です。事業の評価に対する考え方、改善に向けたサイクルについて解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第8回	【観光企画のためのフィールドワーク 事前リサーチ】 フィールドワークを実際に行う前に、対象とする地域の現状について下調べを行います。下調べのための方法やツールについて解説し、一部授業時間内に実践します。	
	【予習】	
	【復習】フィールドワークに向けて対象地域の現状や課題について事前に調査をし、まとめておいてください。	

第9回	【観光企画のためのフィールドワーク 現地調査】 11月下旬～12月上旬の土曜日に3時間（2コマ分）をかけて富山県内の地域を対象にフィールドワークを行います。対象地域はガイダンスの際にお知らせします。（学年歴や学校行事等により前後する場合があります）	
	【予習】	前回の講義で指示した事前のリサーチを踏まえてフィールドワークに出席してください
	【復習】	
第10回	【観光企画のためのフィールドワーク 現地調査】 11月下旬～12月上旬の土曜日に3時間（2コマ分）をかけて富山県内の地域を対象にフィールドワークを行います。対象地域はガイダンスの際にお知らせします。（学年歴や学校行事等により前後する場合があります）	
	【予習】	
	【復習】	フィールドワークで気づいた点を整理し、次回以降のグループワークにスムーズに移行できるよう準備をしてください。
第11回	【観光商品造成に向けたグループワーク プランの作成】 フィールドワーク対象地域の観光商品造成に向けてグループワークを通じて、プランを作っていきます。	
	【予習】	
	【復習】	90分の間にできることは限られますので、足りない部分は課外で検討や作業を進めてください。
第12回	【観光商品造成に向けたグループワーク プランの作成】 前回の授業時間内で作りこみが進まなかった部分を補強し、プランを形にします。	
	【予習】	
	【復習】	90分の間にできることは限られますので、足りない部分は課外で検討や作業を進めてください。
第13回	【観光商品造成に向けたグループワーク プランの発表に向けて】 前回までに作りこんだプランをどう伝えるか、プレゼンテーションのポイントを解説したうえで、次回の発表に向けてグループワークを行います。	
	【予習】	
	【復習】	90分の間にできることは限られますので、足りない部分は課外で検討や作業を進めてください。
第14回	【観光商品造成に向けたグループワーク プランの発表】 前3回の講義の時間と課外の時間を使って作ったプランをそれぞれのグループより発表してもらいます。発表に対する講評・質問もしてもらいます。	
	【予習】	
	【復習】	その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。
第15回	【まとめ】 これまでの講義のまとめ、主に講義の前半のマーケティングについての考え方について振り返り、実際の商品造成に向けたポイントを再整理します。	
	【予習】	
	【復習】	試験に向けてこれまでの講義を振り返ってください。
第16回	試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業態度（授業への貢献度：60％）、授業課題（20％）、期末試験（20％）で総合的に評価します。 また、ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10％、社会性：10％、専門性：80％で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	テキストは使用しません。講義の中で必要に応じてレジュメや資料を配布します。	使用資料 ＜参考図書＞	講義の中で必要に応じて紹介します。
授業外学修等	後半のプランの作成は講義の時間内ではなかなか終わらないと思います。受講生同士で工夫して、課外の時間も上手に使って構想をまとめてください。		
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。		
オフィス・アワー			